

# インフォメーション

# newsletters = NO. 37

1980年12月

## 目次

	頁
1. 役員選挙の結果……………第7回選挙管理委員会…	1
2. 次期会長あいさつ……………岡田節人会長…	1
3. 第14回大会の御案内(1)……………藤田哲也(京府医大・理病)…	2
4. 国際発生生物学会会議について……………岡田節人(京大・理)…	3
5. 第9回国際発生生物学会会議ニュース(1)……………	4
6. The Jean and Katsuma Dan Fellowship Program(生物科学・ 団・国際交流基金の設立計画について)…(2)……………	5
7. 日本学術会議第80回総会報告……………	7
8. 事務局移転のお知らせ……………	8
9. 事務局より(訂正とおわび)……………	8
10. 会員異動……………	9

## 日本発生生物学会

東京都町田市南大谷11号(〒194)

三菱化成生命科学研究所発生生物学研究室内

## 事務局よりのおねがい

### 1. 会費納入のお願い

当学会員の会費は年度始めに納入することになっています。会費の納入は日本学会事務センターより配布される振込通知書を御利用になり、会費の納入に御協力下さい。

学会費を3年間滞納されますと自動的に退会の手続きをとらせて頂きます。尚、その際滞納分の会費を御支払い頂くか送付済のDGDを返して頂きます。やむなく退会を希望される方はその旨学会事務局もしくは日本学会事務センターに届出て下さい。

### 2. 現在DGDの基金を募集中です（サーキュラーNo.22 参照）

1 口 1,000円（1人何口でも可）

払込先 郵便振替 東京0-81651 日本発生物学会  
（振替用紙の裏面に „DGD基金” と記入して下さい）

### 3. サーキュラーへの投稿おねがい

学会員相互の交流のためいろいろな話題をおよせ下さい。学問上のこと（たとえば、意見の交流を求める話題の提供、トピックスの紹介、国際会議の様子、など）、研究室の紹介、学会への意見などいろいろあると思います。ふるって投稿して下さい。

なお、原稿は事務局庶務幹事あて、お送り下されば、幸いです。

## 賛助会員

株式会社 小澤製作所豊田営業所

〒471 豊田市広久町5-27-4

## 賛助会員

株式会社 栄屋理化岡崎営業所

〒444 岡崎市大西町字南ヶ原12-219

## 賛助会員

アロカ株式会社

〒181 東京都三鷹市牟礼6丁目22番1号



中心点を欠いた散まんな状態にあったのではないのでしょうか？ しかしながら、ここ10年とはいいません、ここ5年間に発生生物学は新しい学際体制をふまえて、従来なかった幅の広さを持ち、しかも発生研究固有の問題へ充実感をもってアプローチを初めた感があるように思います。このような時期にあたり日本発生生物学会の代表者としての責任は痛感しておる次第であります。

前回、会長に選ばれました際、現在の発生生物学の研究の進展に応じて、学会のあり方の「学際化」と「国際化」を積極的に進めたいというような気持を書きました。一朝一夕にしてみるべき成果も挙げられぬことでありましょが、この線に沿って微力をつくしたい考えです。また、学会の10年目の反省の際にもられた諸点は学問の進みとよく呼応したものが多々あり、常に留意し実現をはかっていきたいと思っております。

何卒、宜しくお願い申し上げます。

私は現在DGDの編集主幹を兼ねており、この方は、1980年をもって任期を終了します。是非新しい主幹の方のもとでの秀れた雑誌運営を行なって頂きたいと考え、かねてより編集委員会、運営委員会の方々の御意見を頂いてきました。ところが、御承知のように最近雑誌の事業をかなり拡大したことであり、多少の定着をみるまでは今のままというお考えもあり、急いで主幹を変えることは新しい主幹はもとより投稿者に御迷惑をおかけするおそれもなきにしもあらずという現状にあると思われまので、1981年は特例的に私が引き続いて責任をもち、1982年をもって交代するという原案で次回の運営委員会におはかりする所存であります。会長と編集主幹の「二足のわらじ」は許さるべきもないことを承知しながら、このような処置をとりたいと希望します現状を御諒承頂きたいのであります。

学会事務幹事につきましては、加藤淑裕氏（三菱生命研）に長年お世話になり非常な御尽力を頂きました。今回、1981年からの幹事を水野丈夫氏（東大・理・動物学）に御依頼しましたところ御快諾を頂きました。この際、会員各位と共に、加藤氏に対しましては長年の御尽力に心から謝意を表し、水野氏には大任をお引受け頂きましたことを深く感謝する次第であります。

学会会長 岡田 節人 記

### 3. 第14回大会の御案内

第14回大会は昭和56年5月12（火）、13（水）、14（木）日に京都・岡崎の京都会館で行なわれます。団勝磨先生の特別講演が予定されています。その他に、数名の方々による神経系の発生に関する宿題討論会が考えられています。

また、今回は会員の方々の声に応じて、会期中に“自由討議”の時間を設けたいと思います。コーオーディネーターになってもよいとお考えの方は、奮って御申出下さい。テーマとともに大会委員長まで御連絡下さい。

会費は4,000円の予定、懇親会は行いません。宿等は次回(2月末～3月上旬)に御案内致します。

日本発生生物学会第14回大会準備委員会

〒602 京都市上京区河原町広小路

京都府立医科大学第2病理 藤田 哲也

TEL 075-251-5322

#### 4. 国際発生生物学会会議について

国際発生生物学会(ISDB)のメンバーには、すでに通知が届いていると存じますが、第9回国際発生生物学会議は別掲のお知らせの通り1981年8月28日から9月1日までスイス・バーゼルにて開催されます。ISDBのメンバー外の方で今後、同会議についての連絡を希望される方は下記にお申込み下さい。今後、Circularなどが送られてきます。

IX Congress of ISDB

P.O. Box 141

CH4007 BASLE/Switzerland

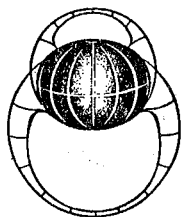
同会議の準備側より、会議の開催につき欧州、英、仏、伊それぞれの発生生物学会に加えて、日本の発生生物学会からの支援も受けておることをアナウンスメントに加えて欲しいという希望が日本発生生物学会会長に寄せられ、喜んで諒承しました。実際にどのような方法で支援できるのか、先方からの希望に応じて考慮し、可能な限りの実を挙げたいと考えております。

日本からの参加について、すでに近畿ツーリスト社がグループ・ツアーのアレンジを企画しております。ISDBとしては遠路ではありますが日本からの多数の参加を希望しております。

なお、この際、ISDBのメンバーへの御加入のおすすめもしたいのであります。加入については既メンバーの方に御連絡されれば所定書式にのっとり推薦の労をとられると存じます。直接小生に御連絡下されればいつでも必要手続きをとります。

岡田 節人(京大・理)記

5. 第9回国際発生生物学会会議ニュース(1)



**ISDB** INTERNATIONAL SOCIETY OF  
DEVELOPMENTAL BIOLOGISTS

*Secretary-Treasurer:*

MELVIN SPIEGEL  
Dartmouth College  
Dept. of Biological Sciences  
Hanover, N.H. 03755 USA

*President:*

A. A. MOSCONA  
University of Chicago  
Dept. of Biology  
Chicago, Ill. 60637 USA

*International Secretary:*

NICOLE LE DOUARIN  
Institut d'Embryologie du CNRS  
49bis Ave. de la Belle Gabrielle  
Nogent-sur-Marne 94130 France

August, 1980

NEWSLETTER

Announcing the PRELIMINARY PROGRAM for the

IXth INTERNATIONAL ISDB CONGRESS

Time: August 28-September 1, 1981

Place: Basel, Switzerland

TOPIC: EMBRYONIC DEVELOPMENT: GENES AND CELLS

The Swiss Organizing Committee for the ISDB Congress is composed of:  
M.M. BURGER, Chairman, M.L. BIRNSTIEL, W.J. GEHRING, G. GERISH,  
K. ILLMENSEE, H. URSPRUNG, and R. WEBER.

SYMPOSIA include: GENE STRUCTURE AND FUNCTION  
GENETIC CONTROL OF CELL DETERMINATION  
DEVELOPMENTAL GENETICS OF HIGHER ORGANISMS  
CELL MOVEMENT AND SHAPE  
PLANT DEVELOPMENT  
FERTILIZATION OF THE HUMAN EGG IN VITRO  
DEVELOPMENT AND CANCER, etc...

INVITED SPEAKERS (Preliminary list): G. ALBRECHT-BUHLER, M.L. BIRNSTIEL,  
P. CHAMBON, I.J. FIDLER, R. FIRTEL, R.A. FLAVELL, D.S. HOGNESS, K. ILLMENSEE,  
P. KAFATOS, R.G. EDWARDS, P. LAWRENCE, P. LEDER, E.B. LEWIS, A. LOPATA,  
B. PIERCE, L. MASTROIANNI, D. METCALF, J.M. VASILIEV, K. WEBER, R. ZINKERNAGEL

REGULAR SESSIONS and POSTER SESSIONS are also planned.

## 6. The Jean and Katsuma Dan Fellowship Program (生物科学・團・国際交流基金) の設立計画について (2)

前回のサーキュラー (No.36) で詳しく御紹介致しましたように、現在、生物科学・團・国際交流基金の設立計画が進められております。発生物学会会員の皆様方には募金の御協金を重ねてお願い申し上げます。

生物科学・團・国際交流基金 設立準備日本委員会 酒井彦一

連絡先 〒 113 文京区本郷7-3-1

東京大学理学部生物化学教室

TEL (03) 812-2111 内 4396~8

郵便振込 (一口 5,000円) は

(口座番号) 東京5 40494

(加入者名) 生物科学・團・国際交流基金 設立準備会

なお、御参考までに同計画のために昨年、Paul Gross教授、井上教授、酒井教授の3人連名で出されましたアピールの原文をここに御紹介致します。



Honorary Chairman  
Katsuma Dan

American Committee  
Paul Gross, Chairman  
Shinya Inoue, Coordinator  
Bjorn Afzelius  
John N. Arnold  
H. Stanley Bennett  
Jane Collier  
Jack R. Collier  
Laura H. Colwin  
Arthur L. Colwin  
Helen Costello  
James D. Ebert  
Teru Hayashi  
Herman Kalckar  
Daniel Mazia  
Charles B. Metz  
Alberto Monroy  
Ruth Sager  
Evelyn Spiegel  
Melvin Spiegel  
Suzan Steinbach  
H. Burr Steinbach  
Helen Whitely  
Arthur Whitely  
R. Yanagimachi  
Tsuneo Yamada

### THE JEAN AND KATSUMA DAN FELLOWSHIP PROGRAM 生物科学・團・国際交流基金

AMERICAN COMMITTEE: Chairman, Paul Gross  
Marine Biological Laboratory, Woods Hole,  
Massachusetts 02543 USA, (617) 548-3705

JAPANESE COMMITTEE: Chairman, Hikoichi Sakai  
Department of Biophysics & Biochemistry  
Faculty of Science, The University of Tokyo,  
Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113. (03) 812-2111

Dear Colleagues:

2 November 1979

The approaching anniversary of the death of Jean Dan, friend and teacher of so many of us, reminds us that a lasting and appropriate tribute to both Dans, Jean and Katsuma, should be established now, while Jean's memory and influence remain fresh and immediate, and while, happily, Katsuma remains active and vigorous among us.

Jean dedicated her life to bridging two peoples and cultures. She did that not so much as a political or principled act, but rather as the expression of her personal life, as wife, mother, scientist, and teacher. Her American origins and her long residence in Japan, her wit, optimism, and courage, worked together to make her very existence a meaningful accomplishment for other people. So too Katsuma who, with his American wife and affinities had to endure in Japan the dark days of the Pacific War, was able to emerge from the trial, together with Jean, as a symbol of brotherhood, of the triumph of science and fellowship over the conventions and structures of both cultures.

*Japanese Committee*  
Hikoichi Sakai, Chairman  
Setsuro Ebashi  
Nobuo Egami  
Yoshiyuki Endo  
Yukio Hiramoto  
Noburo Kamiya  
Haruo Kanatani  
Yoshihiro Kato  
Yasuji Katsuki  
Taiko Miki-Noumura  
Hideo Mohri  
Eizo Nakano  
T. S. Okada  
Yoshio Okada  
Kayo Okazaki  
Hidemichi Sato  
Masao Sugiyama  
Hiroshi Terayama  
Itiro Tomiyama  
Ikuro Yasumasu  
Masao Yoshida  
Mitsuko Yoneda

Jean's and Katsuma's contributions to science are in the public record, linked and yet independently strong. Their equally significant human contributions are not as such to be found in print, yet as many of us know, those contributions have affected other lives, in both countries, in a powerful and positive way.

We propose, therefore, to establish with the aid of an international committee, a fellowship fund in honor of Jean and Katsuma Dan, the purpose of which will be to continue, in a formal way, their work of promoting exchange, fellowship, and the highest standards of biological research in Japan and the United States. We envision an annual exchange, ultimately of several junior and senior scientists, between institutions in Japan and the Marine Biological Laboratory in Woods Hole, Massachusetts, which was in so many ways a second home for the Dans.

Your contributions, together with the many gifts already made, quite spontaneously, by Jean's friends from her Wilson College days, will initiate a fellowship program and also serve as the basis and the example upon which we would raise the capital fund needed to provide income for a permanent program. There is no doubt that success in our approaches to industry and governments will depend heavily upon the initial response from ourselves - those who best understand the significance of the undertaking.

Almost no request for a donation of money is met with pleasure, particularly at this gift-conscious time of year in the U.S.A. and Europe. We do hope that this one will receive at least your serious consideration. Local charities are always immediate and urgent, but the quality of our own lives and those of our children will depend, in the long run, upon keeping alive, in these very political and nationalistic times, the free spirit of scholarship and international brotherhood that Jean and Katsuma Dan exemplify. We thank you in advance for your support, whatever its quantity and quality.

Cordially yours for the  
American and Japanese Committees,

Paul R. Gross  
Director and President  
Marine Biological Laboratory  
Woods Hole, MA 02543

Shinya Inoue  
for the Coordinating Committee  
Marine Biological Laboratory  
Woods Hole, MA 02543

Hikoichi Sakai  
Department of Biophysics and  
Biochemistry, Faculty of Science  
University of Tokyo, Tokyo 113,  
Japan



## 7. 日本学術会議第80回総会報告

日本学術会議第80回総会は、10月22日 9時40分から同講堂において開催された。今総会には、20件を超える提案事項があり、できるだけ審議に時間をあてるため、諸報告は文書だけによることとし、口頭報告は、特に追認・承認を必要とする事項に限って行われた。続いて第6部、食糧需給問題特別委員会、栄養・食糧科学研究連絡会から提案された「食糧自給力の向上について」の勧告案が審議された。しかし多数の会員から、このままでは賛成できないという発言があり、提案者により大幅に修正されたが、なおも多くの会員からの反対があったため、さらに修正を行い、翌日審議することとされた。続いて発展途上国学術協力問題特別委員会提案の「発展途上国からの留学生を対象とする情報センターの設置について」（勧告）が採択された。午後は、最初に国公立研究機関問題特別委員会から、第9期以来の本会議における検討をとりまとめて提案された「国・公立試験研究機関の運営の改善について」（勧告）が採択された。続いて、第7部・癌研究連絡委員会老化分科会提案の「国立老化・老年病センター（仮称）の設立について」（勧告）および第7部と学術情報生産・流通問題特別委員会提案の「医学情報センター（仮称）の設立について」（勧告）が採択され、16時45分1日目の議事を終了した。

2日目の23日は10時開会、第5部提案の「日本工学技術機構（仮称）の設立について」の勧告案について審議が行われた。この提案は、総会前日の21日、特に連合部会が開かれ前もって説明がなされていたものである。しかし、多くの疑問や懸念が述べられたので提案者により修正され、24日に改めて審議することとされた。次に、第7部提案の「医学教育会議仮称の設置について」の勧告案について審議が行われたが、この会議の法律上の性格が問題にされ、この点を修正のうえさらに翌日審議することとされた。続いて、第4部、地質学研究連絡委員会、地球化学・宇宙化学研究連絡会、南極研究連絡委員会提案の「隕石科学及び隕石による宇宙科学研究の振興について」（勧告）、学術体制委員会提案の「研究者養成の振興策について」（要望）、科学史・科学基礎論研究連絡委員会提案の「生産に関連する科学・技術資料の保存・管理・利用について」（要望）、研究費委員会提案の（大学における経常的研究費の増額について）（要望）、国際学術交流委員会提案の「日本学術会議の国際学術交流に必要な予算の増額について」（要望）がそれぞれ審議の上採択された。続いて、前日に提案された「食糧自給力の向上について」勧告の修正案が審議されたが、なお反対意見が多く、投票による採決の結果賛成少数で可決されるに至らなかった。続いて海洋学研究連絡委員会、水産学研究連絡会提案の「海洋科学調査について」の要望案はなお検討の必要ありとして、提案者により取り下げられた。2日目は18時に終了した。

3日目の24日は、最初に会長から前日の「食糧自給力の向上について」の提案は、総会で可決されなかったが、本会議はこの問題の重要性を否定するものでないで食糧需給問題特別委員会の名でこれまでにもとめた見解や資料を外部に発表することを了承されたい旨が述べられ、承認された。続いて第7部、実験動物研究連絡委員会提案の「動物実験ガイドラインの策定について」（勧告）が採択された。前日の「日本工学技術機構（仮称）の設立について」の勧告案は、

提案者により「工学技術振興の方途を早急に講ずることについて」の要望案にかえることを提案され、活発な討論の後、投票により可決された。次に前日提案の「医学教育会議（仮称）の設置について」（勸告）の修正案が採択された。この後、科学者の地位委員会提案の「外国人の国公立大学専任教員任用について」（見解）、第7部、第3部、第5部提案の「労働衛生の効果的推進について」（要望）、国際協力事業特別委員会、環境・健康問題特別委員会、自然保護研究連絡委員会提案の「環境・科学研究の推進について」（申入れ）、環境・健康問題特別委員会提案の「騒音問題の重要性を訴える」（声明）、原子力平和問題特別委員会提案の「放射性物質を使用する際の心構えについて科学者・技術者に訴える」（声明）、会長提案の「国際紛争の平和的解決の必要性について」（声明）が採択され、16時30分全議事を終了した。

本総会は、提案件数が多かったが、多くの会員から活発な意見が述べられ、第11期最後の総会にふさわしいものになった。

なお、本総会の出席率は、1日目85.6%、2日目86.1%、3日目82.3%であった。

日本学術会議広報委員会

## 8. 事務局移転のお知らせ

“次期会長あいさつ”（当サーキュラー1頁）で述べられましたように来年1月より、事務局は東京大学理学部動物学教室（水野丈夫教授）へ移転致します。

## 9. 事務局より（訂正とおわび）

前号のサーキュラーNo.36に下記の誤りがありました。訂正させて頂くとともに、おわび申し上げます。

掲載記事	頁：行	記 誤	正
①大会に参加して…東中川徹	5：4	分子生理学	分子生物学
	5：15	生理学	生物学
	5：25	Syngenetic	Syngeneic
	5：33	細	細胞
②新入会員 高山 洋一	16：3	Gene expresston	Gene expression
	16：3	Ooganogenesis	Organogenesis
③新入会員 森山 英明	17：17	<i>Penicillium uritica</i>	<i>Penicillium urticae</i>
	17：17	<i>Bacillus subtilus</i>	<i>Bacillus subtilis</i>

## 10. 会 員 異 動

### 〈新入会員〉

① テーマ      ② 材料

和田圭司 大阪大, 医, 附属病院第2内科      ①筋の発生, 筋に対する trophic 効果  
②Chick embryo の breast muscle を用いた cell culture

### 〈住所変更〉

新

旧

山本喜代子      名大, アイソトープ総合センター      名大, 理, 生

### 〈退会会員〉

阿部武丸      東京都町田市成瀬2-14-1  
田矢洋一      国立ガンセンター研究所, 生物  
丸山工作      千葉大, 理学部

賛助会員

## 和 研 薬 株 式 会 社

京 都 市 左 京 区 北 白 川 西 伊 織 町 2 5  
電 話 京 都 (075) 721-0491 (代)

賛助会員

## 日 製 産 業 株 式 会 社

〒 453 名 古 屋 市 中 村 区 名 駅 4 丁 目 6 - 18  
(名 古 屋 ビ ル 内)

賛助会員

## 三 菱 化 成 生 命 科 学 研 究 所

〒 194 東 京 都 町 田 市 南 大 谷 11 号

賛助会員

## 合 資 会 社 木 下 理 化 器 製 作 所

〒 460 名 古 屋 市 中 区 千 代 田 5-22-11

賛助会員

## 株 式 会 社 商 新 名 古 屋 営 業 所

〒 462 名 古 屋 市 北 区 憧 旛 町 1-6 志 賀 コ ー ポ 101

賛助会員

## ヤマト科学株式会社名古屋営業所


〒 456 名 古 屋 市 熱 田 区 波 寄 町 48

SIGMA  
PRICE LIST  
**APRIL 1977**

**BIOCHEMICAL AND  
ORGANIC COMPOUNDS**

*for Research*  
and **DIAGNOSTIC  
CLINICAL REAGENTS**

IT'S  
EASY TO  
ORDER  
from  
SIGMA



**Telephone COLLECT**  
(Charges Reversed)  
from Anywhere in the World  
9 A.M. to 7 P.M. Monday thru Friday  
9 A.M. to 1 P.M. Saturday, Sunday & Holiday

**314-771-5750**

**TO PLACE AN ORDER**  
Tell your operator that you want to place a collect call "to anyone" at  
Since this is our Order Department, you will reduce our costs a bit if you don't ask for the "Order Department" or any certain individual. However, it is a good idea to get the name of the person you call to for case a routing directory issue.

**TO CALL OUR CUSTOMER SERVICE DEPT.** **314-771-5765**  
To discuss a Shipping or Technical problem, or for any reason, please call.  
Monday thru Friday  
If you have any trouble getting really excellent service at the above numbers, please phone me (Dan Broda) personally. Person-to-Person (collect) at 314-972-5415.

# SIGMA シグマ製品がブーンと お求めやすくなりました！

日本特殊薬品では、アメリカ・シグマ社と代理店  
契約を結び、シグマ社最新カタログの全製品を、  
下記の要領で簡単にお求めいただけます。

- シグマ社の製品一切は、ご使用者への直結販売にかぎりません。
- 遠隔地への送品には、荷造り・送料を実費申し受けます。少量の場合には、代金引換えにてお願いすることがあります。
- 汎用品はできるだけ常蔵していますが、品切れ、その他の場合は約1カ月のうちに取りよめます。(船便のときは約2カ月後)

お問い合わせは下記へ

〈シグマ社受権代理店〉

## 日本特殊薬品株式会社

大阪市西区京町堀1丁目8番22号(〒550) ☎06(448)2261(代表)  
私書箱番号(〒530-91) 大阪中央局第755号

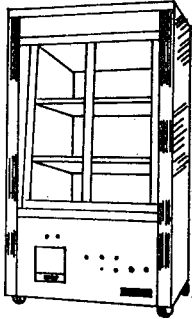
Call me anytime... day or night, Mondays or Holidays. I am usually (but not always) available. If you don't reach me, please try again later.

**TELETYPE — TWX Telex** **910-761-0593**  
We have a TWX machine and our number is  
If you have a TWX machine you may dial us directly.  
If you have a Telex machine, contact your teletype representative for instructions.  
Don't try to dial our TWX number on a regular telephone — it won't work.  
You must have a teletype machine.  
To call us "collect" on either a TWX or Telex machine, contact your teletype representative for instructions.  
Although we accept "collect" teletype messages, they are allowed to pay a few countries. Check with your teletype representative for details. If you cannot send your messages "collect" we will be happy to reimburse the cost if you send us a copy of the message and the charges.  
Our answer back code is "SIG. OK Collect". Although you may send messages to us at night, we cannot reply immediately. Our machine is unattended Monday through Friday between 1700 and 0800, and all day Saturday and Sunday.  
**PLEASE HELP US TO HELP YOU —**  
If at all possible, don't send us a CONFIRMED PURCHASE ORDER at all. It serves no useful purpose after your phone order is shipped, and might result in a Duplicate Shipment which is NOT returnable. We do not re-sell returned reagents.  
If a purchase order MUST be sent anyway, be sure it is clearly marked  
**"CONFIRMATION, DO NOT DUPLICATE"**

**SIGMA**  
CHEMICAL COMPANY

# NK式生物研究用機器

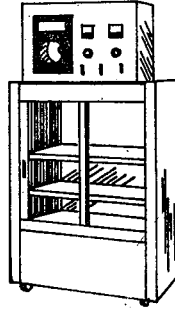
## NK式電気低温恒温器(送風循環型) 高精度普及型



型式	LP-100 -S型	LP-150 -S型	LP-200 -S型
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	460×380 ×490	560×380 ×670	660×410 ×670
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	26万円	30.5万円	32万円

※その他いろいろなタイプがあります。

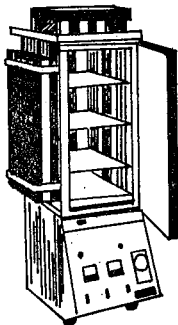
## NK式プログラム電気低温恒温器(送風循環型) 四季の温度がプログラムで自在に再現できます!



型式	LP-150 -3P	LP-200 -3P	LP-300 -3P
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	460×880 ×480	560×380 ×670	660×410 ×670
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	49.8万円	53.5万円	60万円

## NK式人工気象器

植物の育成、小動物(昆虫)飼育の本格派!

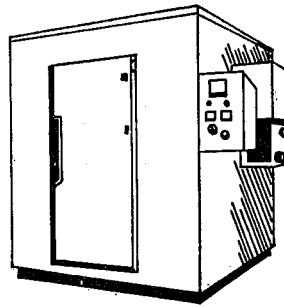


型式	LH-100 -RD型	LPH-100 -RD型	LH-100 -RDP型
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	360×350 ×680	360×350 ×680	360×350 ×680
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+10℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	温度のみ 47万円	温・湿度付 73万円	プログラム付 66万円

※その他いろいろなタイプがあります。

## NK式プレハブ電気低温恒温槽

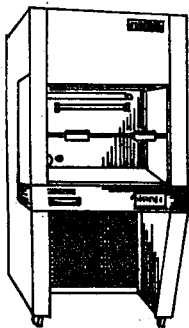
組立、移設、増設が思いのまま!



### 精密型

- LH型+5℃~45℃  
価格1坪1,190,000円  
より各種
  - LP型+18℃~45℃  
価格1坪1,290,000円  
より各種
- ※詳細はプレハブシリーズカタログをご請求下さい。

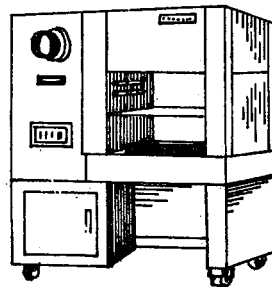
## NK式クリーンベンチ(垂直層流型)



NKB-VS-850  
¥780,000  
NKB-VS-1300  
¥880,000

## NK式クリーンベンチ(垂直層流両面型)

無菌作業の能率アップに!



NKB-VW-850  
¥1,200,000  
NKB-VW-1300  
¥1,500,000



株式会社 日本医化器械製作所

本社 〒550 大阪市西区江戸堀1丁目19番24号 電話 大阪 06(443)0712(代)  
東京営業所 〒183 東京都府中市緑町7053-4 電話 府中 0423(65)3245(代)  
工場 〒583 羽曳野市駒ヶ谷5番地47号 電話 羽曳野0729(58)1919(代)